

赤れんが

ブラウンハイム
自治会
第47号

てくださった方々、そして
自治会役員の皆さん、本当
にありがとうございました。

サマーフェスタ'90に

参加して

佐久間 健

好天候に恵まれた今年のサマーフェスタ'90、沢山の観客の方々が船溜まり会場に来てくれました。定着しつつある、この夏まつりも今年で第十一回目となりました。色々な工夫をこらしたアトラクション企画で地域の小、中学生から周辺の大学、自衛隊まで幅広い人達の参加で、楽しいお祭りだったと言えます。

各々の自治会長で構成された実行委員会ではアトラクションの部会を担当し出演の段取り、進行と奔走しましたが大変盛り上がり、ホッとしています。これからは更に「この地にふさわしい独自のイベント」の実現を提唱したいと思います。又、当自治会から出店した夜店も大変な繁盛で「焼そば」を作るの間に合わないほどの盛況ぶりでした。沢山の当ブラウンハイムの住民の方々に御来店していただき、お陰様で予想を越える成果を上げることができました。お客様で来ていただいた方々、お手伝いをし

神輿、それは故郷の香り

永井 忠雄



神輿と、そして太鼓の音。それは遠い日の田舎の夏祭りの情景を思いおこさせるものです。数年も前からブラウンハイムの夏祭りには神輿と山車が出され、多勢の人々が参加している様子を見て、立派にやっているなど内心思っていたものです。そういう私自身は、自治会の役員でもないし、子供も大きくなってしまったので参加しないことを当然のこととしていました。

ところが、今年は自治会の役員となり恒例の夏祭りでは神輿と山車の準備係をすることにしました。白人が沢山いるから大丈夫と言われているが、不安がつるばかりでした。この不安は消しとんでしまいました。『ブラウンハイム神輿保存会』とでも言うべき一流の腕を持った方々が手弁当で日夜の応援、いや主力となって飾り付けの仕事をしてくれました。石川さん、加藤さん、伊藤さん、稲村さん、八嶋さんその他自分の時間を割いて面倒をみてくれた方々、本当にお礼の申し上げようありません。強力な支援の結果、今年は二台の神輿を出すことができました。本当に有り難いと思うと共に、ブラウンハイムの心意気を感じた日々でした。近くに住む知り合いから『ブラウンハイムの自治会活動は活発であり他の団地の人々も感心している』という話を聞いたことがあります。今年自治会の役員の仕事をさせてもらいこの言葉を実感として受けとめることができました。人には故郷が必要です。自分が生まれ育った場所が人の成長に大きく左右することになります。季節が巡って来ると、住んでいる人々の気がさわぎ、楽しみの期待がふくらむ町、それが人を育てる故郷ではないかと思えます。子供達がこの町を、この自治会を故郷として立派に育ってくれることが親としての我々の努めではないかと思えます。伝統は人がつくるものであります。ブラウンハイムの素晴らしい歴史をつくる

ためにも四季折々の行事を全員参加で行ってゆきましょう。

夏まつりのポスターは7月15日、集会所において43名の子供たち(幼児~小学生)によって作られました。予想を上回る参加人数で夏まつりへ向けておおいに盛り上がりました。指導に当たってくださった桜井さんから感想をいただきました。



子供達が画き出した、かわいいお祭りのポスターが出来ました。思いの外沢山の子ども達が集まり、楽しんでいます。子供達と一緒に絵を画いていると、大人の目で見ると絵のきれいに目がいびきです。絵のいい子、その子なりに一生懸命画いている事に感服し、大賞にしています。皆んなが楽しんで画き出した。とてもよく画けています。だから絵にラッキーはついたらいいですね。子供達の絵は大人も喜びます。私も嬉しい一日でした。

1990.9.2

桜井 忠雄

夏祭りを振り返って

夏祭りのイベントの中で夜店を出すという、これはおもしろいなと思ったの聞いて、一度お祭りの夜店をやってみたかったからです。前に住んでいた野庭団地のお祭り、クレープ屋さんの手伝いをしたことがあります。その時のお店は団地の敷地内でした。今度はテキ屋さんも出店する本格的な場所です。鉄板やガス台を借り、南部市場という大きな市場での仕入れです。両脇に沢山の商品が並んで活気があります。まず紙製品を扱う店で、紙皿・割りばし・焼そばを入れるケースを買い、次は焼そばの仕入れです。肉屋さんではベーコンとピヤーガーデン用のウインナーを買って終了しました。

さて、午後からは夜の準備です。焼そばを袋から出して、ほぐして大きなポリバケツにいれて行きます。キャベツの刻んだのもポリバケツに放り込み、手さばき良くドンドン準備されました。

四時からのテントの設営と材料の運搬は男の方々のチームワークの良さでテキパキと進みました。

次は開店前に焼そばを作って店頭に並べておくのですが、これは三瀬さんが一手に引き受けて下さったので女性たちはその手さばきの良さを只々感心しながらながめているだけでした。

焼そばも出来上がり余裕が出てきたところ、二丁目を出している焼そば屋さん

に価格のアドバイスをしてあげたり、順調にスタートしました。

ブルーハウスの屋台はベーコン入り焼そばで売り込み、初日は早々に材料切れ、翌日はジャスコに買いに走りまわりました。

二日目は前日のときよりも早めに準備にとりかかり、今日のお客さんの入りはいか程かと待っていましたら、開店早々から沢山の人が並んで下さり、お客さんの切れる間がありません。焼そばを作る人、ショウガ・ノリをいれる人、輪ゴム

をかけて割りばしを乗せる人、お金や焼そばの受け渡しをする人とそれぞれ流れ作業でテキパキとできました。

全員が一生懸命に取り組んだおかげで無事に終了できたと思います。そして会長さんを中心とした男の方々のチームワークの良さと、骨惜しみのない協力があったからだとおもいます。

(渡辺 美千留)

少年部より

夏休みのラジオ体操は、並木第二小学校校庭で、第三住宅のどろり子供会とわんぱく子供会との合同で開催しました。

前半は七月二十三日から二十七日、後半は八月二十七日から三十一日まで行われました。

参加希望者一〇七名のうち八〇名ほどの出席でしたが無事何

事もなく終わることが出来ました。

七月二十二日にはサマーフェスタのための灯笼づくりを集会所にて行いました。楽しい時を過ごせたうえに、立派な作品が出来上がりました。

(岩谷 ツサ)

花笠作りのお手伝い

サマーフェスタ90の第二日目はブルーハウスの独自の夏祭りでした。

二〇の一から二の三まで全居住者が参加する『みんなのお祭り』『みんなでお祭り』という自治会役員の意気込みと実行力で、今年の夏祭りは大そう盛り上がりしました。

幹の会



花飾りのお手伝い 「幹の会」の皆さん

当日は朝早くから大勢の子供たちも、おみこしや山車曳きに参集し、大人の神

輿に負けない元気一杯の可愛い姿が見られました。

夏祭りの二週間ほど前には、お年寄りの「幹の会」のメンバーも、山車の時に子供たち全員がかぶる花笠の飾りつけのお手伝いをしました。新しい桜紙で花飾りを作り、古いものと付け替えて、出来上がった美しい花笠は当日本番の山車曳きの子供たちの頭にとって、明るい夏の陽に映えていました。

(藤 好)



防災訓練を終えて

防火防犯部 石川 康一

九月九日(日)ブルーハウスハイム防災訓練は二〇九名の参加で実施されました。

金沢消防署幸浦出張所職員のご協力を得て活気あるものでした。午前十時より避難訓練を開始し消防署職員の指導による情報伝達訓練、応急救護訓練、消火訓練を行いました。各訓練とも参加者が真剣に取り組み、貴重な体験ができました。

中でも特にすごいと感じたことは、加熱した天麩羅鍋の中に火が入った時に水をかけると、火柱が5mぐらい上り、かえって火災を大きくするとわかったことです。

災害時にはこの訓練が生かされることと思えます。

皆様のご協力ありがとうございました。